

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1735号	氏名	稲富健司郎
論文審査担当者		主査教授	田口 尚
		副査教授	江口勝美
		副査教授	河野 茂
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、透析性脊椎症の発症と骨破壊における advanced glycation end products (AGE)の関与を明らかにするために、頸椎黄色靱帯内の 2 ミクログロブリン(2M)と AGE の発現の関連を検討したものであり、研究の目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 透析性脊椎症 15 例の頸椎椎弓形成術時に採取された頸椎黄色靱帯について、コンゴレッド染色にてアミロイドの沈着を確認し、免疫組織化学的に 2M と AGE の沈着分布を比較検討している。更にマクロファージの浸潤についても検討を行っており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 全症例にアミロイドが沈着し、これらは主として 2M と反応していることを確認した。また、2M の AGE 化が認められ、透析期間の長さに関連していることが示され、マクロファージ遊走と骨吸収性サイトカインの産生が骨破壊性に作用する機序を示唆しており、結果の解析や考察も高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は透析性脊椎症の発症と骨破壊機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。